

請願第 4-11号

「安倍元首相の国葬の停止を求める請願」に

賛成討論を行います。

国葬の停止には、様々な根拠があります。

●請願書にもあるように、

- ・国葬例が失効し法的な根拠がないこと
- ・国会の審議と議決もなく 内閣の決定でおこなうこと
- ・公費の支出があること
- ・コロナ感染期であるにもかかわらず6000人もまねくこと」
- ・国論が二分しているにもかかわらず憲法で保障された

「個人としての尊厳」や「思想・良心・表現の自由」を侵害することなどです。

●そのなかでも、私たちが、一番危惧し不安に感じるのは、実質的に**国会を軽視・形骸化**して

政権・内閣の意志だけで行おうとするやり方です。

●これは多数の横暴ということではありません。議会制民主主義を踏みにじる傾向にあるからです。

かつて日本の軍国主義の政治も、ナチスドイツの政治も、議会を完全に形骸化し政権の思惑で、政策も経済も、そして国民動員も、さらには弾圧も自由に行い、戦争政治に向かいました。

●今、防衛費の激増化がはじまり「反撃能力」とする敵基地攻撃論まで政権内で実行されはじめた時に、その一方で物価高騰にもかかわらず、10月からの相次ぐ社会保障の負担です。

政権の思惑だけで国や予算をうごかすやり方は、不安を感じざるをえません。これは安倍元首相からのやり方です。

●また、自治体はどうですか？「国の動向を見てから」となっていませんか？自治体の行政機関や教育委員会はどうですか？半旗を掲げて弔意を表すのですか？自治体の議会はどうですか？請願者の説明をしっかりと聞いての判断ですか？

自治体は自治体議会として 議員各位の見識が求められています。